



オーストラリア直送レポート

Vol.3 2018.8.14 登校2日目

- ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課・井口
吉備中学校・田中
- パーマストーン校・ローズベリー校グループ／教育委員会社会教育課・松場
八幡中学校・島田



ドリップストーン校グループ

登校2日目を迎えました。朝、学校に到着すると、何人かの研修生たちが、すでに到着していました。昨日の朝とは様子が違い、ほとんどの研修生が、研修生どうしではなく、現地の生徒と話をしていました。昨日以上に、積極的にコミュニケーションをとる姿を見て、嬉しくなりました。毎朝、現地の学校が用意してくださった、研修生用の部屋に集まるのですが、今日は、現地の生徒たちがその部屋に集まり、授業が始まる時間ぎりぎりまで、楽しく会話をしていました。しばらくして、現地で担当してくださっている先生が、私たちを迎えに来てくれました。今日は現地の学生と一緒に、午前中はウィンドウ・テュー・ザ・ウエットランズ、ジャンピングクロコダイルの見学をし、午後からはリーンヤー・レクリエーションパークに行く予定です。ドリップストーン校から、約1時間バスで移動し、ウィンドウ・テュー・ザ・ウエットランズに到着しました。ここでは、オーストラリアにいる動物の説明や、アリ塚の模型を展示をいたしました。事前研究で、オーストラリアの動物について調べている研修生もあり、興味津々に展示を見学し

ていました。次に、ジャンピングクロコダイルの見学に行きました。ここでは、船に乗って、野生のワニを間近で見ることができます。船に乗る前の待ち時間に、現地の先生から、果物などの軽食をいただきました。研修生たちの様子を見ていると、同じテーブルに座り、食事をしている研修生や、現地の学生と談笑している研修生の姿が見受けられました。また、登校初日の様な緊張感はなく、自然に会話をしている様子が印象的でした。時間の経過とともに、研修生たちが成長していると実感することができました。再びバスに乗り、約1時間でリーンヤー・レクリエーションパークに到着しました。この公園は遊具や、プール、ウォータースライダーなどの設備があり、ダーウィン市民が休日によく利用する施設だそうです。到着し、ドリップストーン校に用意していただいた昼食を食べ、ホストファミリーが迎えに来るまでの約1時間、自由時間を設けました。自由時間では、現地の学生たちと一緒にウォータースライダーに乗ったり、プールで泳いだり、遊具で遊んだりしている姿を見て、現地の学生との友情が深くなっていると感じました。一方で、今日一日研修生たちを見ていると、現地の学生とあまりコミュニケーションをとることができず、研修生どうして、話をしていることが、多少見受けられました。学校が終わると、友達と離れてホストファミリーの家に帰るので、研修生どうして行動をしたい気持ちも分かりますが、研修として参加しているので、一人でも多く、現地の学生と交流できるように、私も研修生たちの背中を押したいと思いました。今日は、体調を崩した研修生が校外学習には行けず、ホストファミリーの家で1日お世話になりました。夕方に、ホストファミリーの家に行き、状況を確認すると、元気な様子で安心しました。今回の研修では、現地での交流だけで無く、支えて下さっている方々への感謝の気持ちも感じて欲しいと思います。校外学習には行けませんでした。貴重な体験になったと思います。研修日程も12日間のうち、6日が経過しました。研修生たちには、悔いの無いように現地研修を終えてもらいたいと思います。明日も、積極的に行動ができるように、研修生たちをサポートしたいと思います。(井口)



「英語に慣れてきた気がする」と元気な嬉しい朝の一声でした。体調を崩した子もいましたが、夕方には元気な笑顔を見せてくれました。今日の校外学習には行けなかったですが、オーストラリアでの自分の部屋で、ホストファザーの優しさに触れられたことも、良い経験でした。ハプニングも多々ありながら、今日の帰りには「もう半分過ぎてしまったなあ」という声が聞こえてきました。「よし、やっと半分。みんな元気で何とか過ごせた。」と思っていた私でしたが、改めて、私も研修生たちと楽しく有意義な時間にしようと、気を引き締めました。吉備中学校の子と現地の子の見分けがつかないくらいに交わっています。研修生たちには、バディーの子どもたちが、一生懸命にお世話をしてくれることを、よく見てほしいと思います。それを見て、日本に来た時には、おもてなしをしてくれることを期待します。それも楽

しみになってきました。明日は市長訪問です。研修生たちの礼儀も問われます。少し不安ですが、期待したいと思います。(田中)



パーマストン校・ローズベリー校グループ

昨日のローズベリー校に引き続きPS校登校初日を迎えました。天気は快晴。TVの天気予報によると最高気温は31度とのこと。朝は涼しく半袖、短パンでは寒く感じるほどの気温です。本日の予定は、PS校の朝礼にて研修生たちの紹介、その後は校外学習としてダーウィン郊外のワイルドライフパークに行く予定です。集合時間である8時前に到着するとすでに数名の研修生徒たちが登校して校庭のテーブルで雑談をしていました。全員とあいさつを済ませて体調の確認をすると特に問題なく過ごせている様子でした。次に生徒全員分の”心の風景”を回収しました。昨日は忘れていた子もいましたが今日は皆提出してくれました。授業開始の時間になり体育館の全校集会に参加しました。早速、校長先生と代表の現地生徒から歓迎の挨拶をうけました。終了後、校外学習に出かけました。移動はスクールバスです。グレッグ校長先生とアニータ先生がバスの運転および引率として同行してくれました。目的地までは約30分ほどの道のりです。研修生たちはスクールバスの思い思いの席に座り、少し興奮気味にオーストラリアでの生活の内容などを話していました。



昨日贈呈されたパーマストン校のボロシャツを着ている子どもたちもおり、オーストラリアに溶け込もうとしている気持ちを感じました。パークでは、園内を巡回しているトレインまたは徒歩にて移動しました。オーストラリアに生息するワラビーなどの小動物や、爬虫類、バードショーなどを見学しました。お昼は園内のピクニックテーブルにてサンドイッチやフルーツを食べました。最後に売店でお土産を買うなどして出発地の学校に戻りました



英語で積極的にスタッフに質問する子や、自分の興味

生物や昆虫をマイペースで撮影している子、または友達とおして楽しく過ごしている子など、オーストラリア研修での充実した日々を過ごさせているように感じられました。朝の涼しさとは違い、日中の日差しの強さは日本の酷暑を感じさせる気候と、慣れない生活のため、疲れを感じ始めるころとなりました。日中の集団行動の中では14名それぞれの個性が見え隠れしています。ホストファミリーや現地校の先生方の温かい配慮と引率の先生方の協力を得られているように感じます。研修日程も後半となりました。明日からもより充実日々を過ごせるようにサポートしたいと思います。(松場)

今朝はパーマストーンシニアカレッジで集合。今日も全員元気いっぱいスタートすることができました。朝一番の集会で生徒や先生方に紹介していただき、その後ワイルドライフパークに出発。窓から見えるブッシュファイヤー(乾燥した草木が自然発火すること)やあり塚が見えるとあちこちで声が上がっていました。男子2人は進んでランチのために用意してくださったウォータークーラーを運ぶのを手伝ってくれました。さすが!!ワイルドライフパークではワラビーと戯れたり、ペリカンの餌付けやわしやエミューの鳥のショー、たくさんの爬虫類や魚たちを専用のトレインで移動しながら見学しました。たくさんの写真を撮りすぎてバッテリーがなくなりそうになる人もいました。予定通りの日程を終え、無事学校に到着。その後私はアニータ先生の家を訪問しました。ホームステイしている研修生と共に楽しいひと時を過ごしました。明日も生徒の皆さんと一緒に有意義な時間が過ごせますように…。(島田)

